

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 協議項目

1) 平成 30 年度学校評価(案)について

学校教育自己診断及び学校アンケートを基に校長による自己評価

■確かな学力の育成と第一志望の進路実現に向けて

- ・(1)授業アンケート満足度 83% 昨年度と比較すると 0.4%増であるが目標 85%未達成
- ・(2)講習の実施率 67% 目標達成。
- ・(4)大学見学会は大阪北部地震と大雨警報により中止
- ・(5)1 月 10 日時点での図書室の貸出数 1078 冊、図書館への来館者数 4578 名
昨年度を上回る。

■豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

- ・(2)2 学期末時点での遅刻者数 576 名 教員の遅刻指導、PTA 及び地域との連携をとりながら、年間の遅刻者数を昨年度の 652 名以下に抑えたい。
- ・(7)吹奏楽部や合唱部による老人ホームでの発表や、体育系部活動による小中学校への指導等、部活を通して地域のコミュニティーに積極的に参加。
- ・40 周年記念事業は、11 月 1 日(金)にシンフォニーホールにて開催予定。

■生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

- ・(1)教員の学校運営への参画意識向上 54%(昨年度 44%)
- ・(3)PTA の協力により、プロジェクター2 台を新たに購入
- ・(4)学校見学会 3 回実施。中学生と保護者を合わせて 1145 名来校

【質疑応答】(委：協議会委員 学：学校側)

☆委

- ・図書室の利用向上の要因

→学：図書委員活動の活発化、展示コーナーの設置、クラスでの呼びかけ等が挙げられる。

☆委

- ・体育祭、文化祭の満足度の低下原因は

→学：天候による活動の制限

☆委

- ・働き方改革が課題の中で、香里会の実施は若手教員の負担になっていないか。

→学：年 5 回の実施で一定の配慮をしている。内容も日常の業務内で習得が困難なものを精選している。2 年目の教員も参加しており、彼らからの支援も得ている。

2) 平成 31 年度学校経営計画(案)について

■確かな学力の育成と第一志望の進路実現に向けて

- ・(1)アクティブラーニングを取り入れ、主体的、対話的学習を深める。また、教科横断的な取り組みを行っていく。
大学入試制度改革や英語 4 技能試験に対応していくため、各教員の授業改革及び授業力向上を図る。
- ・(5)図書室や自習室の利用等、授業外での校内学習指導の徹底に努める。
学校としての部活動の活動方針をたて、部活動の両立を図る。

■豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

- ・(2)教員が中心となり、国際交流委員会の新設
- ・(7)創立 40 周年事業の実行

■生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

- ・平成 30 年度学校評価を基に改善及び向上をめざす。

【質疑応答】

☆委

- ・少子化の影響により、関関同立合格者数 60 名以上の達成目標は難しくなる。そのため、進路実現目標を生徒数の減少に影響されず過去との比較ができる表現に変更されたらどうか。

☆委

- ・達成すべき目標が多すぎるため、数をしぼるべき。特に生徒及び保護者の意見を基にした目標達成に集中的に取り組んだほうがよい。

☆委

- ・関関同立合格者数 60 名以上という目標は、入学してくる生徒の学力の上限をつくってしまっているのではないかと。

(3) 学校教育自己診断について

生徒、保護者、教職員による学校自己診断アンケートの結果を報告

■学習指導

- ・授業の取り組みは良好。家庭学習が課題。将来や進路に自信をもっている生徒が少数 36%。
- ・教職員の授業力向上への意欲は高い。一方、学力の高い生徒及び学力の低い生徒への対応が不十分

■進路指導

- ・進路実現への支援が充実している。

■生徒指導

- ・服装指導の強化が要因となり、特に 3 年生の生徒指導方針に対する肯定意見が低く見られた。
- ・指導・相談体制が改善された。

■学校運営

- ・災害対応の遅さ、指示伝達の遅れへの指摘。迅速な判断、情報発信に努めていく。
- ・学校 HP はリニューアルの効果が表れている。
- ・学校運営に対する教職員の意識は向上。

【質疑応答】

☆委

- ・アンケート項目が多いため、内容の変更や項目の削減等、簡略化すべき。

☆委

- ・「教職員は意見を積極的に述べている」が低かった原因は？
→学：数年前に府の指示で校長権限が強化されたことが影響していると思われるが、この数値も年々改善傾向にある。

4. 37 期生進路状況中間報告

- ・約 4 割の生徒が AO、指定校推薦、公募推薦で進路決定。
- ・大学センター入試受験者数 150 名弱
- ・37 期生の受験傾向として、進路の早期決定が見受けられる。

5. 校長謝辞